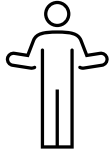


成人の日行事のあり方に関する議論の方針及び開催概要について

議論の実施方針

アンケート結果から

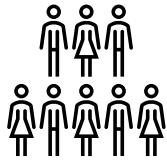


市に意見を伝える機会がない
アンケートに協力した理由として、「アプリで通知が来たから」に次いで、「普段市に意見を伝える機会がない」と答えた方が多い



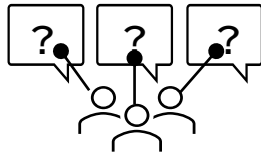
市民を交えた議論の必要性
成人式について若者や地域、市民と議論するべき=5~6割
議論に参加したい=3~4割

方針



参加の後押し

無作為抽出により
サイレント・マジョリティを含む
様々な属性の市民の参加を促進



市民と課題等を共有して議論

課題や市の検討過程、
正確な情報等を市民(参加者)
と共有した上で議論

情報提供の考え方

総論のほか、各論点に関してバランスよく正確な情報をお伝えするため、情報提供する参考人は丁寧に検討

総論



会議趣旨と総論

実施主体



地域 or 行政

財政



補助金増 or 全額行政

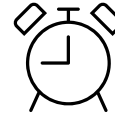
会場



10区 or 合同

議論の開催概要(案)

日時



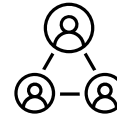
令和6年10月27日(日)、11月4日(月・祝)
・9時30分~17時00分(昼休憩1時間)

会場



札幌グランドホテル クリスタルホール
・北1条西4丁目地下1階(地下歩行空間直結)
・地下鉄札幌駅・大通駅徒歩4分、312㎡

参加者の募集方法



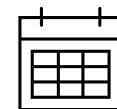
住民基本台帳から無作為抽出し申込書を送付
無作為抽出の市民3千人(市の人口構成を考慮)と
19歳アンケート対象者(3千人)へ申込書を送付し、
アンケート調査の結果を同封。謝礼(1万円相当)あり。

会議の公正性の確保



議論の手法やプロセスは市民自治推進会議が監視
・事務局は市民自治推進室に置き、会議の運営は委託
・ファシリテーターを確保

今後のスケジュール



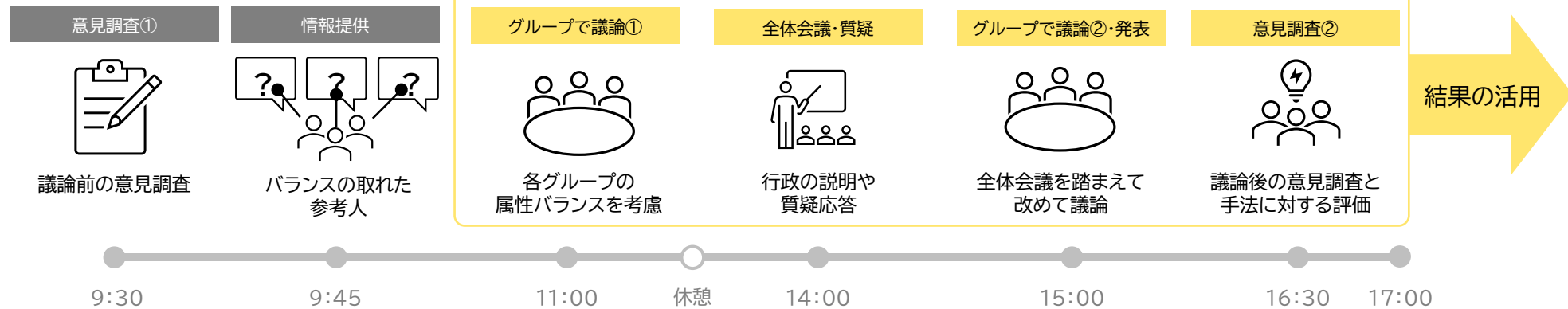
9月上旬参加依頼発送、10月上旬参加者決定
・第7回会議において経過報告
・実験のプロセスの進捗は札幌市公式HPで発信

議論の実施内容について(1回目:ミニ・パブリックス型)

議論の目的と流れ

- ・無作為抽出の市民40人により議論を実施し、ファシリテーターが合意形成を支援
- ・参加者は、応募者の中から性別や年齢などのバランスを考慮して選定
- ・論点に関して投票(評価)を行い、結果を市の策案及び今後のさらなる議論に活用
- ・市政課題に関して一般市民が熟議する機会を得た場合の意識の変容を調査し、手法に関する評価も実施

市の縮図をつくり、一般市民の目線で課題の問い直し



参加者の性別・年齢構成例

(人)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70~	計
男性	1	2	3	3	3	3	3	18
女性	1	3	3	4	4	3	4	22
計	2	5	6	7	7	6	7	40

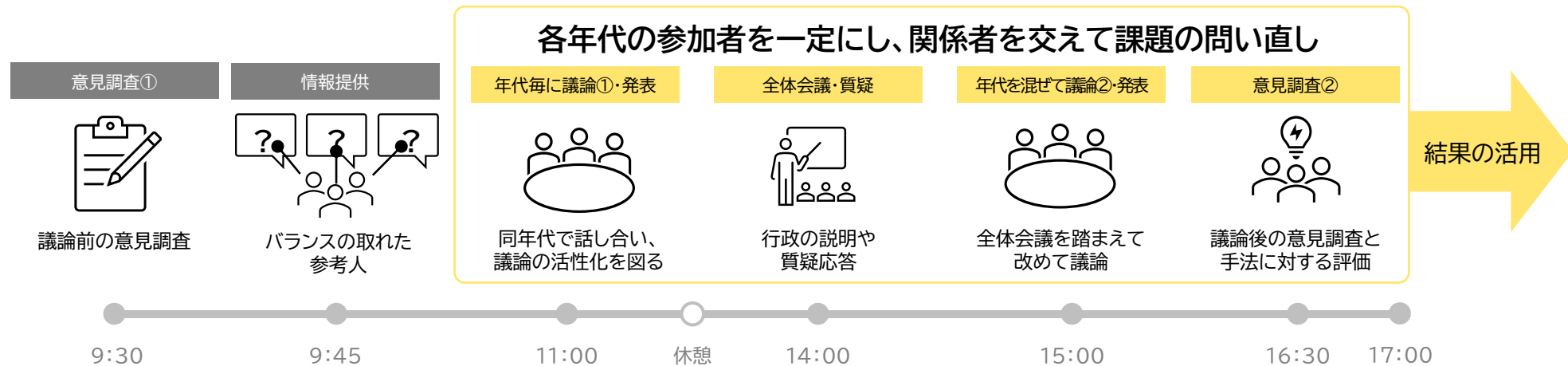
テーブル毎の年齢構成例

(人)	A	B	C	D	E	F	計
10~20代	2	1	1	1	1	1	7
30~40代	2	3	2	2	2	2	13
50代以上	3	3	4	4	3	3	20
計	7	7	7	7	6	6	40

議論の実施内容について(2回目:市民自治推進会議オリジナル案)

議論の目的と流れ

- ・無作為抽出の市民40人により議論を実施し、ファシリテーターが合意形成を支援
- ・参加者は、応募者の中から性別や年齢などのバランスを考慮して選定
- ・年代毎の意見の把握を試みるとともに、論点に関して投票(評価)を行い、結果を市の策案及び今後のさらなる議論に活用
- ・市政課題に関して一般市民が年代毎に熟議する機会などを得た場合の意識の変容を調査し、手法に関する評価も実施



参加者の性別・年齢構成例(=議論①)

(人)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70~	計
男性	3	3	3	3	3	2	3	20
女性	3	3	3	3	3	3	2	20
計	6	6	6	6	6	5	5	40

議論②の年齢構成例

(人)	A	B	C	D	E	F	計
10~20代	2	2	2	2	2	2	12
30~40代	2	2	2	2	2	2	12
50代以上	3	3	3	3	2	2	16
計	7	7	7	7	6	6	40